



「えん罪！浦和電車区事件を風化させずあたり前の労働運動を押し進める10.31集会」が開催される！！

・・・戦争とえん罪、これは権力者のみができる犯罪だ。

浦和電車区事件とは？？

2002年11月1日、JR東日本で働く7名が突然、家族の目の前で逮捕されました。

『強要罪』（人に何かを強引にさせる罪）の疑いで逮捕。彼らは旧浦和電車区に所属する運転士でした。

ことの発端は、逮捕の前年2001年に職場の仲間だったA君がJR東労組から分裂した他労組主催のイベントに参加したことが明らかになったことでした。心配した職場の仲間たちはA君に事実を問いましたが、A君はウソの謝罪をして職場の組合員をごまかしたのです。さらにウソをごまかすためにウソを重ねるA君に、信頼を裏切られた仲間は反省を求める討論をしたのです。しかしA君は反省することなく、自らの意志でJR東労組を脱退しJR東日本を退職しました。その後A君は被害届を出し、逮捕されることとなったのです。逮捕から釈放までの期間が344日だったことにちなみ、7人は美世志（みよし）会として、以降ともに東労組運動を担ってきました。逮捕を受け会社は解雇となりました。私たちが労働者にとって解雇は死刑宣告と同等です。

・・・しかし！実際には強要した事実はなかった！！

会社はモノ言う労働組合を徹底的に制圧するため国家権力までを行使し、なんの罪もない7人を逮捕しました。このようにして私たちに対する攻撃はおこなわれてきました。

浦和電車区事件から23年、いまだに私たちへの攻撃は止まらない！！

- ・武蔵小金井駅暴行事件、不当処分 不当転勤問題
- ・大宮地本パワハラ日勤教育問題
- ・脱退懲添などなど・・・

美世志会の方が当時を振り返って

- ・家に警察が来ていると妻から電話があった。帰ったところ逮捕令状が示された。平和な家庭を崩された。
- ・一日10時間にもよる取り調べを受けた。
- ・拘留中多くの仲間が警笛を鳴らしてくれたのが心強かった。
- ・当時本部役員の様子がおかしかった→逮捕前日、本部役員の逃亡
- ・組織強化につながった。

権力に屈することなく、そして浦和電車区事件を風化させることなく組織拡大・要求実現のため美世志会と連帯してJR東労組を押し進めていこう！！